

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グリーンバスチャーズ多機能型事業所			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 12月 5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 12月 5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心感をもって通所でできおり、通所を楽しみにする様子が見られている。	こどもが安心して過ごせるよう、日頃から丁寧な声かけや安定した関わりを心がけている。	こどもがより安心して通所できるよう、環境面や関わり方の見直しを継続して行う。
2	事故や怪我等が発生した際には、速やかに保護者へ連絡し、状況説明を行う体制が整っている。	事故発生時の対応手順を職員間で共有し、迅速かつ正確な報告・連絡を意識している。	事故対応や報告体制について定期的に振り返りを行い、より分かりやすい説明につなげていく。
3	職員がこどもの気持ちに寄り添い、共感的な関わりを大切にしている。	こどもの気持ちや行動を受け止め、否定せず共感する姿勢を大切にしている。	共感的支援の質を高めるため、職員研修や情報共有を通して支援力の向上を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族も参加できる研修会・情報提供の機会が十分に行えていない。	日常の支援業務が中心となり、家族支援に充てる時間や人員の確保が難しい。	情報提供や研修について、無理のない形で段階的な実施を検討する。
2	定期的な面談や子育てに関する助言の機会が限られている。	保護者の就労状況や家庭の事情により、面談や集まりへの参加が難しい場合がある。	オンライン面談等も活用し、定期的な相談や助言の機会を確保していく。
3	保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会の提供が少ない。	家族支援や交流活動の企画・運営に関するノウハウが十分でない。	保護者やきょうだいが参加しやすい交流の場を検討し、家族全体への支援の充実を図る。